

- 復興水産物の消費拡大に向けて、水産物消費拡大検討会で示された対応方向である「復興水産物に対する安心の確保」及び「復興水産物の認知度向上と消費拡大」に向けた取組を、引き続き実施していく。

＜復興水産物の消費拡大に向けた取組の例＞

1. 魅力発見！三陸・常磐もののネットワークの取組

- 2022年12月20日に、「三陸・常磐もの」の消費拡大等を図る官民連携の枠組み、「魅力発見！三陸・常磐ものネットワーク」を立ち上げ。現在、産業界、政府関係機関、全国の自治体から900者以上が参加し、三陸・常磐ものの消費拡大を実施している。
- また、2月23日～3月24日を「三陸・常磐ウィークス」と称し、イベントの実施や、企業や各省庁における三陸・常磐ものの社食への導入、弁当等の購入等を推進中。
- こうした取組により、ALPS処理水の海洋放出に伴う風評を抑制・払拭するとともに、三陸・常磐地域における水産業等の本格的な復興につなげる。

「三陸・常磐ウィークス」における取組（2月23日～3月24日）

◆イベントの実施

- 「魅力発見！三陸・常磐ものネットワーク」の協賛により「SAKANA & JAPAN FESTIVAL2023」を開催（「発見！ふくしまお魚まつり」も同時開催）

（開催イベント）

- ・代々木公園（東京） 2月23日（木・祝）～2月26日（日）
- ・万博記念公園（大阪） 3月17日（金）～21日（火・祝日）



◆企業等における取組

- ネットワーク参加企業等での弁当、社食、キッチンカー等を通じた「三陸・常磐もの」の消費拡大を実施中。



（社食での「三陸・常磐もの」の提供）



（三陸・常磐弁当の消費拡大を実施）

2. ごひいき！三陸・常磐キャンペーンの取組

- 三陸常磐エリアの豊潤な海の幸を多くの方に知っていただき、味わっていただくための施策として「ごひいき！三陸常磐キャンペーン」を2022年10月1日より実施。
- キャンペーン第1弾はよみうりランドにおいて開催され、三陸常磐水産品を販売するブースを出展。
- 2023年1月には、同キャンペーンの第2弾として、東京ドームにおいて開催された「ふるさと祭り東京2023」にブースを設置し、三陸常磐水産品の魅力を発信。
- ステージイベントにおいて三陸常磐水産品のPRを実施（西村経済産業大臣、太田経済産業副大臣、ご出展者の方々、キャンペーンアンバサダーのアルコ&ピースが登壇）。



▲ステージイベントの様様（よみうりランド）



▲ステージイベント、ブース訪問の様様（ふるさと祭り東京）



3. 水産見本市における三陸・常磐ものの魅力発信の取組

- 流通・小売関係事業者等に向けて三陸・常磐ものの魅力を発信することを目的として、昨年8月24日～26日に開催された水産見本市「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」(東京開催)において、三陸・常磐地域の事業者が参加し、経済産業省も出展をサポート
- また、本年2月21日、22日に開催された水産見本市「シーフードショー大阪」においても、三陸・常磐地域の事業者の方々の出展をサポート。
- 本イベントにおいては、三陸・常磐ものの試食会も開催。来場された流通・小売関係事業者等の方々に三陸・常磐ものを実際に食べていただき試食会は大盛況。

シーフードショー大阪(2/21,22)の様子

